【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2020-95120(P2020-95120A)
【公開日】令和2年6月18日(2020.6.18)
【年通号数】公開・登録公報2020-024
【出願番号】特願2018-231828(P2018-231828)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　5/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/10　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　5/00　５５０Ｈ
Ｇ０９Ｇ　5/10　Ｚ
Ｇ０９Ｇ　5/02　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年12月6日(2021.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のフレームを含む画像データを取得する画像取得手段と
輝度範囲をサブレンジに分割する閾値を設定する設定手段と、
前記サブレンジと前記サブレンジごとに異なる変換色との対応関係に基づいて、前記画像データの色を前記変換色に変換することにより、フォルスカラー画像データを生成する変換手段と、を有し、
前記設定手段は、前記複数のフレームの輝度の最大値である最大輝度を前記閾値として設定することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記最大輝度より高い輝度範囲は１つのサブレンジに対応する
ことを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記最大輝度より低い輝度範囲は２つ以上のサブレンジを含む
ことを特徴とする請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記最大輝度は、ＭａｘＣＬＬである
ことを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記設定手段は、前記画像データのメタデータから取得した前記最大輝度を前記閾値として設定する
ことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記最大輝度以外の前記閾値は、前記最大輝度より低い輝度である
ことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】

前記画像データは、複数のシーンを含み、
前記設定手段は、シーンに含まれている複数のフレームの輝度の最大値を前記閾値として設定する
ことを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記最大値は、Ｓｃｅｎｅ－ＭａｘＣＬＬである
ことを特徴とする請求項７に記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記画像データは、ＨＤＲ１０フォーマットで生成された画像データである
ことを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
前記フォルスカラー画像データに基づくフォルスカラー画像、および前記サブレンジと前記変換色との前記対応関係を示す凡例画像を、表示手段に表示させる制御手段をさらに有する
ことを特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１１】
前記設定手段は、前記最大輝度より低い輝度範囲である前記サブレンジのうち最も広いサブレンジをさらに分割する閾値を設定する
ことを特徴とする請求項１から１０のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１２】
複数のフレームを含む画像データを取得する画像取得ステップと
輝度範囲をサブレンジに分割する閾値を設定する設定ステップと、
前記サブレンジと前記サブレンジごとに異なる変換色との対応関係に基づいて、前記画像データの色を前記変換色に変換することにより、フォルスカラー画像データを生成する変換ステップと、を有し、
前記設定ステップでは、前記複数のフレームの輝度の最大値である最大輝度を前記閾値として設定する
ことを特徴とする制御方法。
【請求項１３】
コンピュータを請求項１～１１のいずれか１項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の第１の態様は、
複数のフレームを含む画像データを取得する画像取得手段と
輝度範囲をサブレンジに分割する閾値を設定する設定手段と、
前記サブレンジと前記サブレンジごとに異なる変換色との対応関係に基づいて、前記画像データの色を前記変換色に変換することにより、フォルスカラー画像データを生成する変換手段と、を有し、
前記設定手段は、前記複数のフレームの輝度の最大値である最大輝度を前記閾値として設定する
ことを特徴とする画像処理装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
本発明の第２の態様は、
複数のフレームを含む画像データを取得する画像取得ステップと
輝度範囲をサブレンジに分割する閾値を設定する設定ステップと、
前記サブレンジと前記サブレンジごとに異なる変換色との対応関係に基づいて、前記画像データの色を前記変換色に変換することにより、フォルスカラー画像データを生成する変換ステップと、を有し、
前記設定ステップでは、前記複数のフレームの輝度の最大値である最大輝度を前記閾値として設定する
ことを特徴とする制御方法である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の第３の態様は、コンピュータを上述した画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラムである。